

本提言を踏まえた  
モデル地区へのアドバイス



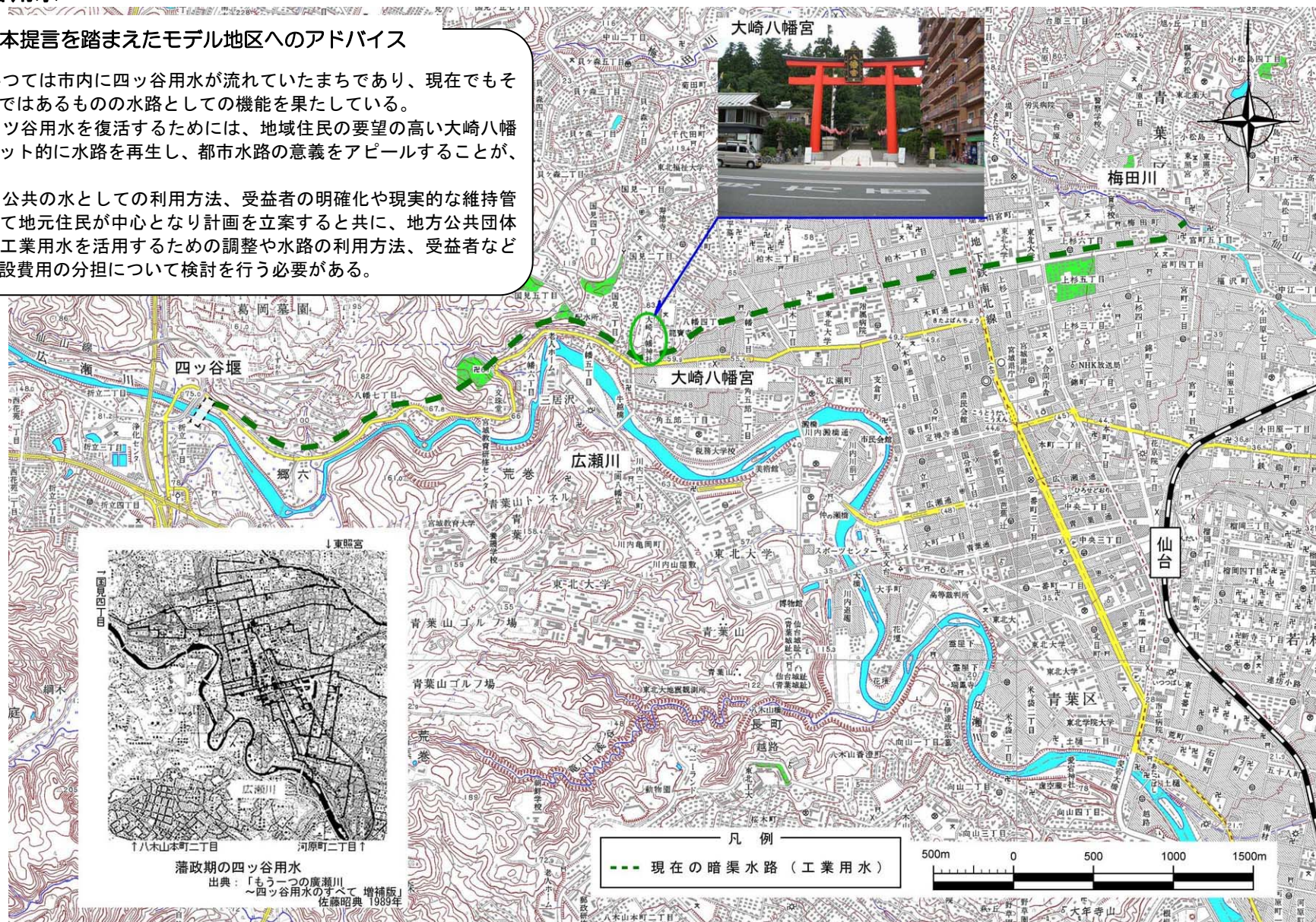
## 仙台市 四ツ谷用水

### 本提言を踏まえたモデル地区へのアドバイス

仙台は、かつては市内に四ツ谷用水が流れていたまちであり、現在でもその一部は暗渠ではあるものの水路としての機能を果たしている。

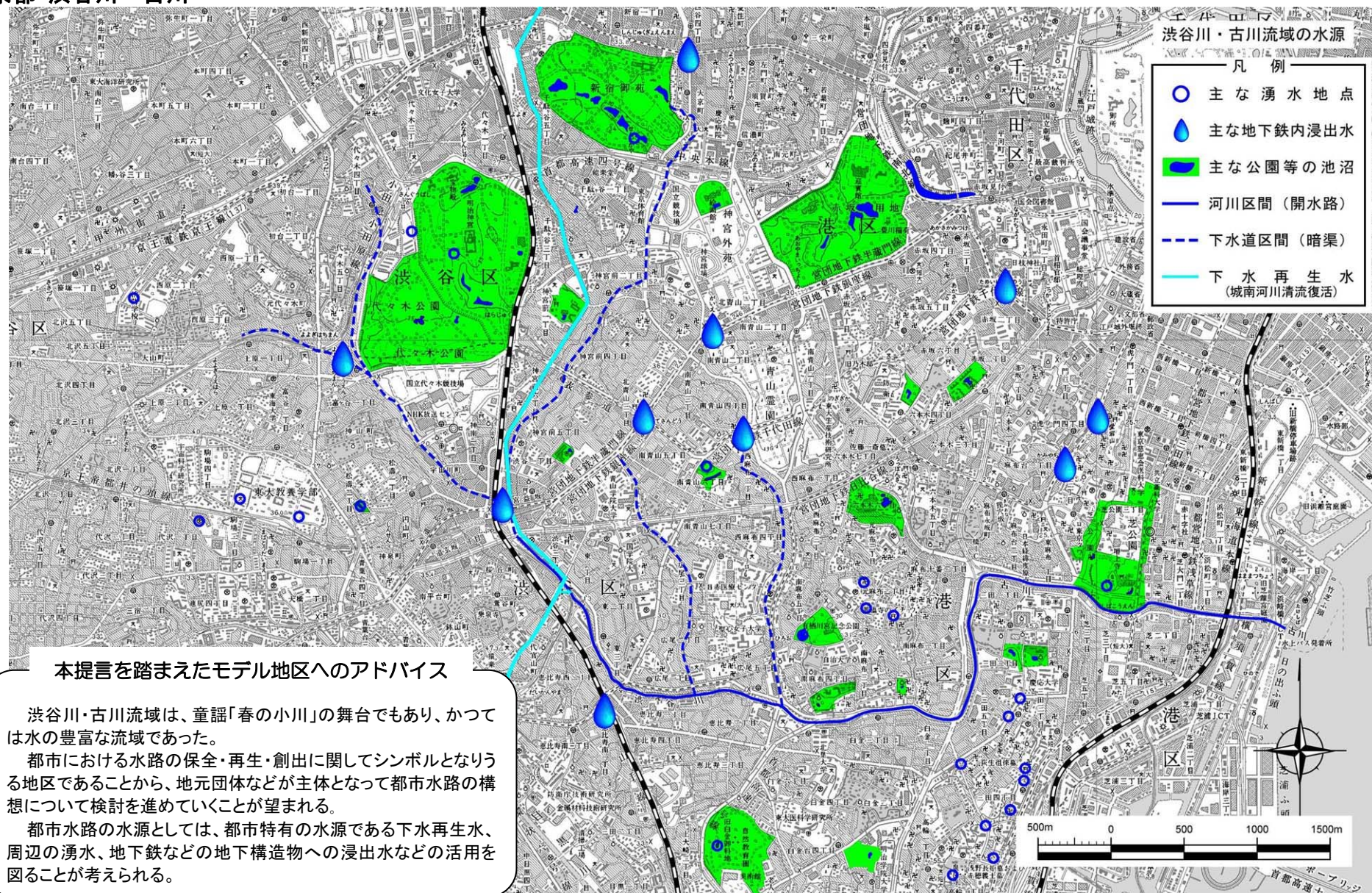
かつての四ツ谷用水を復活するためには、地域住民の要望の高い大崎八幡宮周辺でスポット的に水路を再生し、都市水路の意義をアピールすることが、有効である。

この場合、公共の水としての利用方法、受益者の明確化や現実的な維持管理方法について地元住民が中心となり計画を立案すると共に、地方公共団体は水源として工業用水を活用するための調整や水路の利用方法、受益者などを踏まえた建設費用の分担について検討を行う必要がある。





## 東京都 渋谷川・古川



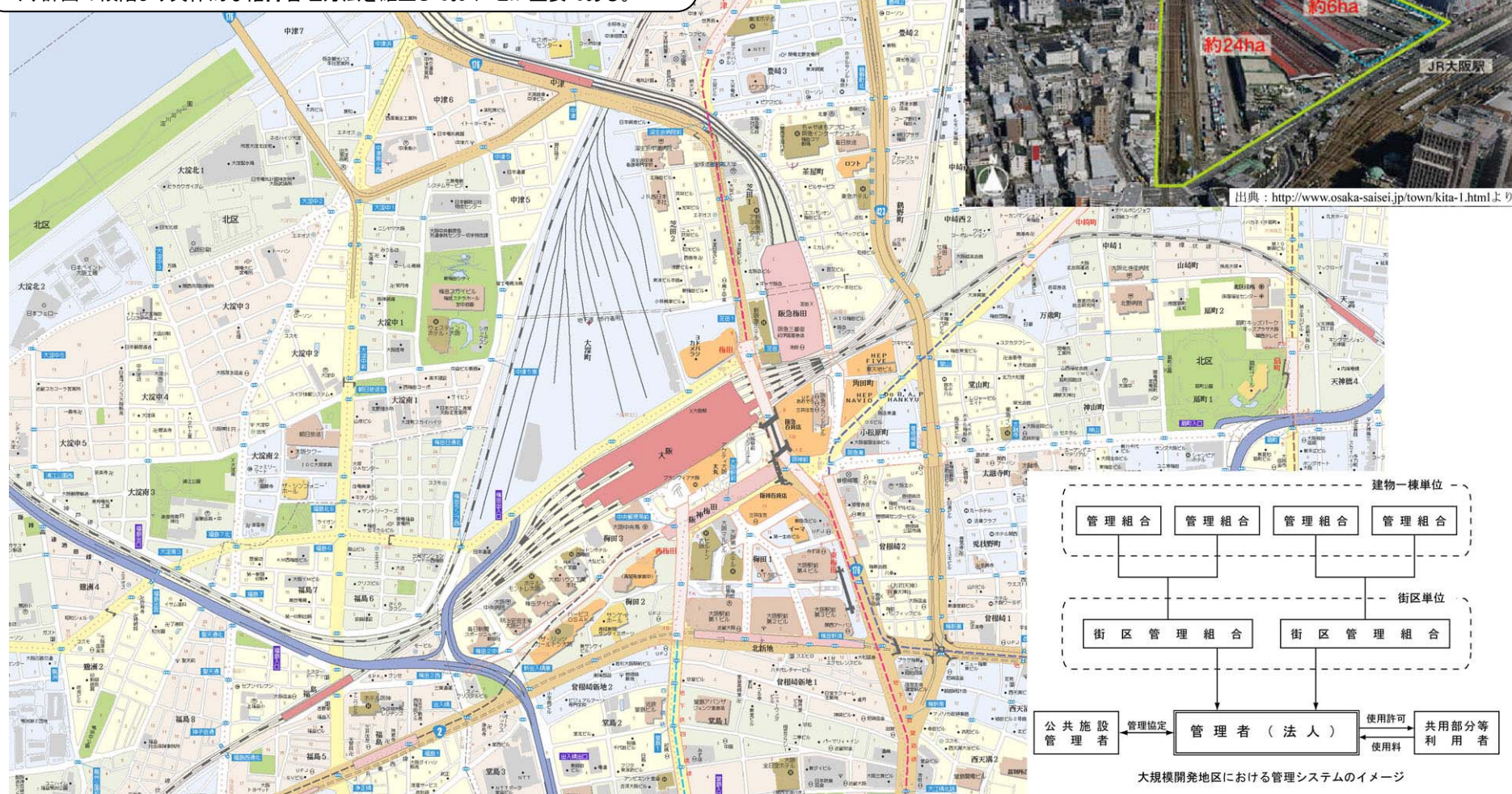


## 大阪市大阪駅北地区

### 本提言を踏まえたモデル地区へのアドバイス

大阪は水の都といわれており、市民の水に対する関心も高まりつつある。  
この大阪駅北地区においては、全体的な景観の調和を図りながら、まちづくりと一体的に都市水路の整備を行う好機であるといえる。

また、再開発地区の管理を行う組織の目的に都市水路の維持管理を位置付け、計画の段階より具体的な維持管理方法を確認しておくことが重要である。



大規模開発地区における管理システムのイメージ